

第四十七回 「夏といえば……」／冷たい

「夏だねえ」

「あ、姉貴、今年はどうするの？」

「セナ姉は今年も放浪するの？」

「んー、今年は皆といふかなって思つてさ」

「あれー、珍しいこともあるんだー」

「じゃあ、今年は戀姉も、セナ姉も予定合せて皆で何処か行こうよ」

三姉妹＋晶と唯の五人……何処か空いてる場所……

「唯先輩達はどうするの？セナ姉は晶さんと一緒に居たいでしょ？」

「じゃあ、お姉ちゃんがうちの系列抑えちゃうぞー！」

「実際に抑えるのは咲夢でしょうが……」

「えへへ……」

「そもそも、一般の人に使つてもらふべきでしょ。だから僕と晶のセー  
フハウスでも使おう」

「セーフハウス……セナ姉ってそんなの持つてたの？」

セーフハウス、僕の放浪で緊急時に隠れる場所として最初用意したし  
たけど、晶と付き合う様になつてからは晶と会う場所だったり、晶のオ  
フの様に増えていった。

「で、何処のセーフハウスがいい？ 『夏といえば』な観光地だったら  
大体あると思うよ」

この時期どこも観光客で一杯だからね、何処でもいいんだよね。

「とりあえず、咲夢、唯にパスポート持参で一週間ぐらいの旅行する荷  
物持つてこさせて」

「えっ、晶さんは？」

「どうせセナが連絡するでしょ」

「冷たい……」